

CBB通信

2017年12月号

●はじめに

皆様、お世話になっております。

CBBは今年2017年2月に一般社団法人に移行し、CBB通信も今回発行第3号を迎えます。

発行が毎月月末ということもあり、内容はクリスマス、世間はお正月、という不思議な気分ですが、皆さま良いお年を。

今月も、より現地のいまにフォーカスした月次報告をお届けできたらと思います。



●CBBスクールNOW

11月に減った生徒数ですが、12月に入り増加傾向にあります。生徒が友達を連れて来てくれたり、新しいグループが数グループ来てくれたりすることで子供の数が多くなりました。にぎやかなスクールとなっております。

●新インターン生

12月後半には新しいインターン生が来てくれました。女性ということもあり、子供たちは大喜びです。教員の数が増えたこともあり、授業数を多くすることができ、また、たくさんの子供たちに日本語や英語を教えてあげられる環境になりました。そのせいもあり、子供たちのやる気もアップしています。生徒の日本語力も上達してきました。



●クリスマス

12月25日はクリスマス。日本のように寒く、雪の舞うクリスマスではなく、暑く乾燥し、汗をかきながらのクリスマスとなりましたが、子供たちを招待してクリスマスパーティを開催しました。準備を大学生4人に手伝ってもらい、プレゼントを用意し、子供たちとサンタクロースの帽子を作りました。いつもとは違った生徒の表情を見ることができました。子供たちはとても満足したのではないのでしょうか。みんな笑顔で楽しい時間を過ごしていました。イベントを子供たちと一緒にするというのはとても大事なことです。イベント以降、子供たちの勉強に対する姿勢も少し変化しました。また、何よりインターン生達と子供たちの絆が深まり、距離が近くなった気がします。



●大学進学・雇用創出プロジェクト



先月11月には3,4年生6名、今月12月はついに新入生の授業料支払いを終え、無事CBBから3名(リダ、ピッセイ、スレイリヤ)の奨学生を輩出することができました。



●CBB Online School

「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーとしたカンボジア人向けのオンラインスクール。11月は「みんなの日本語」「小学生向けクメール語教育」を実施。

12月は更に「小学生向け算数教育」「高校3年生向け生物」を開始。

算数教育は多くの教育関係者の中で問題としてあげられる分野。まだ試行錯誤中ですが少しでもカンボジアの算数教育を変えられたら、と思います。

生物。こちらは数年前に改正された「高校卒業試験」の対策クラスです。改正後カンニングが禁止になり、不合格者が大量に増えました。

一方スコアAを取る優秀者は無償奨学金からバイク給付、表彰などいたせりつくせり。CBBスクールでは生物でAを取った学生により生物授業を進めています。

●理事の集い

IT関係の前(マエ)理事と進めているプログラミングブートキャンプ。プノンペンの起業家や関係者から

情報収集をし、少しずつですがリサーチを続けていきます。

●事務局員たちの日々

フィンランドの地下智隆、ニューヨークの川崎公美子、東京の常岡晴恵、プノンペンの高橋昌祐樹で協力し合い、助成金提出や組織運営を続けています。

2018年2月にはCBB学生部スタツア、3月には鹿児島島の学生を中心としたスタツアを企画しています。

またこの時期は日本の大学生の春休みに当たるため数件のスクールVisitも実施予定です。

●CBBとは？

一般社団法人CBBはカンボジアの教育支援、特にCBBスクールを通じた語学教育に取り組んでいます。

HP最下部より寄付受け付けております。中間搾取はせず現地の方に直接支援を届けます。

現地日本語教師インターン(1か月~1年)、事務局インターン、それぞれ募集中です。

HP…<http://cbb-cambodia.org/>

メール…info@cbb-cambodia.org